

Replanting project of **Japanese cherry trees** to its origin,
Bhutan in the Himalayas

桜の故郷ヒマラヤ・ブータンへの 日本桜の里帰りプロジェクト

◇日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業◇



主催：NPO 法人国際建設機械専門家協議会

桜の挿し木・取り木・接ぎ木の技術と

桜の育て方の実技研修

歓迎会実施

6/27日 18:30

詳細：最終ページ

後援/支援：外務省、グリーングリーンアカデミークラブ（有志）、東京日本花の会

開催日：2016年6月27日（月）・28日（火） 2日間

開催場所：恩賜新宿御苑樹木班作業場、日本花の会・茨城県結城農場



グリーンアカデミークラブ樹木班（有志）・東京日本花の会
ブータン王立大学桜苗木植樹プロジェクトチーム
NPO 法人国際建設機械専門家協議会（SECONEQ）

連絡先：〒140-0013 東京都品川区南大井 5-13-19-708 株式会社テラグリーン気付
電話 03-3766-3014 Fax:03-3766-8403

日本桜の里帰リプロジェクトのこれまでの経緯ご報告(1)

2014年ブータン国際会議開催記念植樹目録贈呈

【ブータン国際会議 開催報告】(出典:日本技術史教育学会ニューズレター100号)

ブータン国際会議 開催報告

会長 林 和宏(大阪産業大学名誉教授)

実行委員長 白井 一(NPO 法人国際建設機械専門家協議会)

日本技術史教育学会とブータン王立大学の主催による、国際会議 The First International Conference on Engineering, Science, Technology, Education and History 2014 Bhutan (ICESTEH 2014 Bhutan)が2014年8月21日と22日の2日間にわたり、ブータンの首都ティンプーで開催された。この国際会議ツアーには、日本から39名の参加があり、8月20日の午後にバンコク経由でパロ国際空港に到着した。空港では、ブータン側の実行委員長である、ブータン王立大学(RUB)ジグメ・ナムゲル・ポリテクニクの Dr. Andu Dukpa の出迎えを受け、3台のマイクロバスに分乗して、ブータンの農業改良・発展に貢献されたダショー西岡京治氏ゆかりの農業機械化センター(AMC)を視察した。AMCの運営を確認した参加者から高い評価の声が挙がった。

その後、峠越えの道を約30分ほどで、ティンプーのホテル Phuntsho Pelri に全員無事到着した。このホテルのコンベンション・ホールが、翌日からの国際会議のメイン会場である。

国際会議の第1日目(8月21日)は、午前中、ホテルから少し離れたところにある、伝統医療研究所のコンベンション・ホールで開会セレモニーが挙行された。

委員長 Dr. Andu Dukpa の開会宣言の後、主催者を代表して、小生と RUB 副学長 Dasho(Dr.) Pema Thinley の挨拶、続いて JICA ブータン事務所所長の朝熊由美子氏、ブータン政府代表の Dasho(Dr.) Sonam Tenzin の挨拶が行われた。この後、本学会と東京日本花の会から RUB へ桜の苗木の目録の贈呈が行われ、開会セレモニーが無事に終了した。この後、上階にて抹茶と煎茶の日本茶による接待が塩津宣子教授、本多満里子講師により行われ、和やかな雰囲気の中で、両国間の文化交流が実現した。午後から会場をホテルのコンベンション・ホールに移して、研究発表講演に入った。一般講演に先立ち、本学会下間頼一顧問と今回の国際会議の協賛団体である日本機械学会技術と社会部門・部門長の高田一先生(横浜国立大学教授)による2件の基調講演が行われた。その後、ブータン側、日本側交互に6件の

工学、科学、技術分野の発表講演が行われた。内容的にみると、ブータン側の発表は、橋梁の設計、ビルの冷暖房関係(環境)、農産物の品質向上のための乾燥技術など、ブータンの現状を反映して、インフラや農業に関する技術への関心が高いと感じさせられた。第1日目の発表講演終了後、同会場にて歓迎夕食会が開催され、ブータンの伝統舞踊と音楽を楽しみながら、参加者間の人的交流を深めることができた。第2日目(8月22日)は、最初に2件の基調講演があり、7件の工学・科学・技術

分野、6件の教育と訓練分野および1件の歴史と文化分野の発表講演が行われた。そのうち、日本側からの発表は7件、ブータン側からの発表も7件であった。工学・科学・技術分野では、2件の基調講演も含めて、水力プラント、水力発電に関わる内容のもの(ブータン2件、日本1件)と情報処理関係のもの(ブータン3件)が目立った。ブータンでは、水力発電プラントが非常に重要であることが伺えるとともに、情報工学への関心の高さも感じられた。教育・訓練分野では女性に対する教育に関するものが2件あり、ブータンにおいても、科学技術分野への女性の関心が低いことへの危惧を感じさせた。最後となった、歴史と文化分野では、日本からの援助による、ブータンの農業や道路建設における機械化の歴史的経緯についての発表があった。これを以って、基調講演4件を含む、計24件の発表講演はすべて終了し、日本側実行委員長、白井一氏の総括と閉会挨拶で、ICESTEH 2014 Bhutan は閉幕した。

閉会後に行われた送別夕食会では、ブータンの伝統的な踊りの中に、我々日本からの参加者も加わって、ブータン王立大学副学長の Dasho (Dr.) Pema Thinley らとともに、互いに手をつなぎ合って踊るというハプニングもあり、日本とブータン両国の文化的、人的交流も含めて、今回の第1回ブータン国際会議は、大変に有意義なものであったと確信している。

国際会議の終了後、8月23日に日本政府の支援で拡充されたプナカのクルタン訓練センターと、軟弱地の難工事で立ち往生しているプナサンチュダム工事現場を二手に分かれて視察した。訓練センターの講義は全て英語で行われ、見学者は生徒が筆記した精緻なノートを見て感心しきりであった。



帰国前々日に標高3988mのチ・ラ(峠)を越え、翌8月25日には、中国国境まで間近の地方都市 Haa にある、500余名の児童生徒が学ぶ Katso 幼・小・中学校を訪問し、朝礼に臨んだ。1500本の鉛筆、548個の消しゴム等と共に10冊の英語版の日本童話を寄贈した。ここでも全て英語の教科書が使われ、本格的な英語での授業が行われて

いた。教員は校長先生だけが男性であった。先生方と学校教育について意見交換を行った。

最後になりましたが、今回の国際会議実現のために、大変にご苦労、ご負担をおかけしました方々に、心より感謝申し上げます。また、開催にあたって、協賛・後援をいただきました、足利工業大学、日本機械学会技術と社会部門、日本設計工学会、日本ブータン友好協会、NPO 法人 国際建設機械専門家協議会およびブータン王立大学 GNH 研究所に、心から感謝申し上げます。

日本桜の里帰りプロジェクトのこれまでの経緯ご報告(2)

2015年2月、国際会議記念の桜苗木の植樹実施

【ブータン国際会議 開催報告】(出典:日本技術史教育学会ニューズレター103号別刷り報告)

「里帰り」したヒマラヤ桜

第1回ブータン国際会議実行委員長・NPO 法人国際建設機械専門家協議会代表理事 白井 一

江戸時代の国学者の木居宣長(もとおりのりなが)の「しき嶋のやまごゝろを人とはば朝日にゝほふ山ざくら花」の歌は、山桜を通して当人の心をよんだものとして知られています。当人の解説では「本人である私の心とは、朝日に照り輝く山桜の美しさを知る、その麗しさに感動するような心です」と言われています。本居宣長の大和心に投影された桜の苗木を、この度ブータン王立大学の構内に植樹しました。右の写真は、王立大学のDasho Nidup Dorji 副学長(Vice Chancellor)が最初の記念樹を選定しているところです。

2014年8月21、22日、日本技術史教育学会とブータン王立大学(RUB)共催の2014年度ブータン国際会議(ICESTEH 2014)が、首都ティンプーで開催されました。その記念として下の写真にある、紅華と舞姫の2種類の桜の苗木の贈呈目録を開会式場で王立大学にお渡ししました。2015年2月11、12日の両日、ティンプーの王立大学構内で植樹式を行い、その目録に従い合計50本の苗木を贈呈しました、その内の23本をRUB構内に植樹し、残りの27本はパ

ロ、デワタン、タシガンにある各カレッジの構内やパロの農業機械センター等に分散して植樹されました。既に新たに新芽が伸びた植樹された桜の苗木の写真が現地から届いております。



1. 紅華 Cherry (Prunus "Kouka")

ロ、デワタン、タシガンにある各カレッジの構内やパロの農業機械センター等に分散して植樹されました。既に新たに新芽が伸びた植樹された桜の苗木の写真が現地から届いております。

本事業は両国間の一層の結びつきを図ると同時に、「桜の里帰り」を図る意図もありました。

日本桜の里帰り

山桜のオリジナルはブータンのあるヒマラヤから来たと言います。5000kmも離れた日本迄悠久の旅を続けた桜が、その後日本人の心をとらえ、長い時間をかけて美しく変化しました。その桜を、日本人の心と一緒に里帰りをさせた事業です。

今回の植樹は、新宿御苑の桜の維持管理実施団体であるグリーンアカデミークラブの植栽専門家への支援を得て行いました。

桜の苗木の贈呈の発案者は、東京日本花の会の代表理事の溝口富美子様ですが、植樹式終了後の夜半、テルで急逝されました。ブータンでは溝口



富美子様と共にこの事業は末永く記憶されると思っています。

東京農業大学短期大学教授の染郷正孝著『桜の来た道』では、桜を通じたブータンと日本の繋がりを以下のように述べています。



2. 舞姫(Prunus "Maihime")

間違えたように、突然ある枝の一部に、秋咲きの性の遺伝子が表に現れたものと思われます。サクラはもともとネパールやブータン地方を原点として、北上進化する過程で少しずつ変化し、特に四季の変化のはっきりした日本列島ではいろいろなサクラに分化した。つまり秋に咲く性質を「休眠」と言う性質に変えて、適応し生きのびて来たものと考えられます。先祖返りを起こし秋に咲くサクラの枝変りを育種家が接木で増やし今日に伝えられたものと考えられます。』(『桜の来た道』、22~33P)

「日本のサクラは間違いなく春に咲くものです。しかし、遠い昔、秋に咲いた先祖の性質が花の時期を

桜の花はデリケートで取り扱いが難しい

美しいものには虫かつきやすいと言いますが、桜もその例外に漏れず虫がつきやすく、苗木の肌も赤子の皮膚と同じで繊細で弱く、取扱いに神経を使います。5000kmの長旅の後の植樹は勿論その後も苦労が絶えません。移植に適した時期は葉の落ちた桜の木の冬眠時期に行う必要から、毎年12月から翌年の1、2月が植樹に適した時期になります。この度の桜の植樹は、ちょうどその時期に実施されました。

日本桜の里帰りプロジェクトのこれまでの経緯ご報告(3) 2015年7月、植樹した桜苗木の枝下し現場実習実施

【ブータン国際会議経過報告】(出典:日本技術史教育学会ニューズレター104号)

ブータン王立大学に植樹した桜の苗木の成育報告

実行委員長 白井 一 (NPO 法人国際建設機械専門家協議会代表)

日本人の心をブータンに伝えるために、2014年ブータン国際会議開催を記念して、桜の苗木をブータン王立大学に寄贈しました。その植樹式を平成27年2月11、12日の二日間に渡り、大学本部で実施しました。その様子は、既にニューズレター第103号の別刷報告の通りですが、植樹は王立大学本部と王立大学傘下のカレッジの外に、伝統医療研究院、王立健康科学研究所、農業機械センター等10カ所で行われました。



その後の成育状態と必要な枝おろしのために、本(2015)年7月16、17日に王立大学、伝統医療研究院、王立健康科学研究所、農業機械センターを訪問しました。苗木の先端部分の3本の枝を残して他は切り落とし、桜の美しい樹形を作る作業をしてきました。

王立大学ではトップのニダプ・ドルジ 副学長が2月に手植えをした苗木の回りの雑草を取り、立派に育った苗木の枝を下ろしました。他の機関でも学部長などの責任者が、直接作業を実施しました。それぞれの施設で確認したほど全苗木が根付いており、右の写真の様に、逞しく育っておりました。間違いなく数年先に花見が可能です。

特別報告:桜の苗木の贈呈を通してブータンに日本人の心を伝えたいと植樹を提案され、自身も積極的に植樹をされた東京日本花の会代表の溝口富美子様は、植樹式の終わった夜ホテルで急逝されました。公式な行事終了後の出来事ですが、翌日海外におられた王立大学の学長でもあられますジグメ・ナムゲル・ワンチュック第5代国王から関係機関を通し、故溝口富美子様の葬儀に対して特別のご配慮を頂きました。

国王の指示により、当国最大の僧院ともいえるタシチョ・ツンで、千個のバターランプを灯した特別法要が行われ、当国の国賓待遇の、王族、高僧、大臣の葬儀に並ぶと言われる特別の火葬専用鍋が構築され、高僧の読経の下、厳かに荼毘が行われました。ご遺族の公表のお許しが得られましたので、ここにご報告いたします。



ブータン王立大学副学長とジグメ・ナムゲル工科大学学長の 歓迎会の御案内 (平成28年6月27日、18:30~) 新宿西口パレットビル7階「天狗」新宿西口パレットビル店 (下の地図参照)

Dasho Nidup Dorji, Dr. Andu Dukpa
歓迎会会場



新宿西口パレットビル店 03-5325-0750
新宿区西新宿1-1-1 新宿パレットビル7F

会費:3000円+300円(お客様支援費用)

◇NPO 法人国際建設機械専門家協議会が、日本外務省の日本・ブータン友好30周年記念事業として認定頂いておりました「日本桜の故郷ヒマラヤ・ブータンへの里帰りプロジェクト」の一環である、植樹後の樹木育成技術研修と、ブータン王立大学に機械工学科を設立する事案の具体化の人造り研修のために、ブータン王立大学の副学長、Dasho Nidup Dorji とジグメ・ナムゲル工科大学の Andu Dukpa 学長が6月26日から7月16日まで来日します。尚王立大学の学長は現国王です。
◇恩賜新宿御苑で「挿し木・取り木・接ぎ木」の実技実習の後、ブータンやブータン王立大学と関係の深い方に集っていただき、歓迎会を行います。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

◇お二人のプロフィール◇

1. Dasho Nidup Dorji: インドで高等教育を受けた後英国の大学に5年間留学された。ブータンで教師を務めた後、ブータンテレコム総裁の後、昨年王立大学副学長になられた。専門は数学。
2. Dr. Andu Dukpa: ブータンで学び、大学の学士、修士、博士課程は、インド、タイ、カナダに留学して修了された。2011年から現職。

◇歓迎会のお申込み、連絡先 ◇申込期限:平成28年6月25日、メールまたはFax

NPO 法人国際建設機械専門家協議会

〒140-0013 東京都品川区南大井5-13-19-708 株式会社テラグリーン気付
電話 03-3766-3014 Fax:03-3766-8403 e-mail: terragr01@gmail.com

申し込みの際には、①お名前、②所属先、③連絡先をご明記下さい。当日名札を準備いたしますので、宜しく申し上げます。

平成 28 年 6 月 1 9 日

総合技術支援グループ (GSSG)
各位

〒140-0013 東京都品川区南大井 5-13-19-708
C/O 株式会社テラグリーン
NPO 法人国際建設機械専門家協議会
代表理事白井 一
Terragr01@gmail.com

「桜の故郷ヒマラヤ・ブータンへの日本桜の里帰りプロジェクト」
とブータン人造りプロジェクトに関わる
ブータン王立大学副学長と JN 工科大学学長来日と歓迎会のご案内

NPO 法人国際建設機械専門家協議会が、日本外務省の日本・ブータン外交関係樹立 30 周年記念事業として認定頂いておりました「日本桜の故郷ヒマラヤブータンへの里帰りプロジェクト」の一環として、植樹後の育成技術研修と、ブータン王立大学に機械工学科を設立する事案の具体化のために、ブータン王立大学の副学長、Dasho Nidup Dorji とジグメ・ナムギェル工科大学の Andu Dukpa 学長が 6 月 26 日から 7 月 16 日まで来日します。尚王立大学の学長は現国王です。右の写真は 2014 年に開催した、日本技術史教育学会とブータン王立大学主催の国際会議開催記念植樹、最初の一本目の植樹記念写真です。



日本での活動内容は以下の通りです。

1. 日程と研修内容

No.	期 日	内 容
1	6 月 26 日	東京新宿御苑での桜の樹木技術研修育成研修
	6 月 27 日	18:30 からの歓迎会 (新宿西口パレットビル 7F 「天狗」
	28 日	茨城県結城農場での桜の樹木育成研修
2	6 月 29 日	トヨタ産業博物館、トヨタ名古屋自動車大学校で、人づくり研修施設視察
3	6 月 30 日	関西大学での「ブータン特別講演会」での講演と式典出席
4	7 月 1 日 AM	パナソニック、エコソリューションテクニカルカレッジ人づくり機関視察
	PM	コマツ大阪工場、「コマツ匠の杜」技術訓練センタ視察
5	7 月 2、3 日	京都、奈良観光
6	7 月 4 日	中山鉄工所 (インターン研修企業)、ヤンマー建機久留米工場・研修施設視察、(夕刻福岡移動)
7	7 月 5 日 ～ 8 日	クボタ博物館、水車線香工場、樟脳工場視察、島農業機械歴史博物館、鹿児島津資料館、広島原爆ドーム、安芸の宮島、呉の大和ミュージアム、京都に戻り (NPO 法人国際建設機械専門家協議会支援業務は終了)
8	7 月 9 日 ～ 14 日	京都大学 (京都大学とブータン王立大学所属 GNH 研究所の共同研修会開催グループと合流)
9	7 月 15 日	帰国

2. 6月27日、18:30から歓迎会開催

東京での滞在が短いために、これまでブータン王立大学とお付き合いのある関係者を一堂に会して、歓迎会を開催したいと思います。関係団体は以下の通りです。

- (1) 日本ブータン友好協会（2014年のブータンでの国際会議の後援団体）
- (2) NPO 法人国際建設機械専門家協議会：RUBの2名を研修生として招日し、「日本桜の里帰りプロジェクト」を実施。ブータン王立大学に機械工学科を設立するためのインターンシップ制度を活用した人造りプロジェクトを進めている。
- (3) 日本技術史教育学会と国際会議参加者 グループ：2014年国際会議実施機関
- (4) 拓大国際開発教育ファシリテーター養成コース OB グループ：ブータンでの海外研修実施。
- (5) NPO法人新現役ネット技術総合支援グループ（GSSG）：ブータン、モンゴル等での中小企業支援事業
- (6) 恩賜新宿御苑樹木班、グリーンアカデミークラブ（有志）：日本桜の里帰りプロジェクト後援団体
- (7) 東京日本花の会：ブータン王立学への桜苗木寄贈と植樹実施団体。日本桜の里帰りプロジェクト後援団体

歓迎会呼びかけ人：

1. 林 和宏 日本技術史教育学会会長
2. 森靖之：日本ブータン友好協会副会長（元 JICA ブータン事務所長）
3. 横川幸基：元 GSSG 代表代行
4. 高野逸子：2014年国際会議支援者グループ
5. 吉田 宏：恩賜新宿御苑樹木班班長
6. 白井 一：2014年国際会議実行委員長、NPO 法人国際建設機械専門家協議会代表理事

◇会場の「天狗」のご案内

1. 歓迎会開催時間：18:30～20:30
2. 会費は3000円+300円（お客様支援費用）。お飲み物は飲み放題です。

◇参加者は30～35名を予定しております。

新宿西口パレットビルは元の新宿西口会館で、JR 新宿西口に直結した至近ビルで、地下一階から4階までがユニクロの店舗になっている分かりやすいビルです。

Dasho Nidup Dorji, Dr. Andu Dukpa 歓迎会会場



新宿西口パレットビル店 03-5325-0750
新宿区西新宿1-1-1 新宿パレットビル7F